

11月1日  
(水)  
OPEN

- ①仲間に出会えるコミュニティの場 !!
- ②自分自身を客観的に見つめ直そう !!
- ③自分に合った仕事つけよう !!
- ④一般の方、障がい者の方どちらでも !!
- ⑤ご家族、大学院、専門学校と連携 !!

ワンナップ ステージ  
1 up stage

シンパシーを感じるコミュニティ



開催場所：大阪市北区神山町 6-4  
北川ビル 5 階

電話：06-6948-6252

Good ワーク&Good ライフ 就労移行支援



ホーム：apple-osaka.com

メール：info@apple-osaka.com

FAX：06-6940-0271



- ☆開催は、毎週(月・水・金)、夕方(15:30 ~ 17:30)
- ☆ご来所される時は、事前にお電話で連絡をお願いします
- ☆個別のご相談がある場合は、お気軽にご連絡下さい

# アップル梅田の新たなチャレンジ!

ワンナップステージ

## ★☆☆ 1 up stage の開設 ☆☆☆

(シンパシー感じるコミュニティ)



### 1. 『1 up stage』開設の目的

悩みをかかえている子ども達や成人の人達への支援体制は進みつつあるのですが、大学院、大学、専門学校などの学生に対する支援体制は取り残されているのが現状です。

大学院、大学、専門学校では、自分で授業を選択する履修制度になっており、クラスという単位がほとんど意味がなく、いろいろな悩みを相談できる場を持ちにくくなってきています。

そのような中、学生達は入学した当初から将来の自分自身のあり方、まわりの人達とのコミュニケーションに悩んだりしてます。また、学生生活の後半には「就職活動」という学力とは関係の薄い就活力を磨く必要がある時期もすぐに到来します。

就職活動では、学生生活での悩みにくわえ、自分が「どのような仕事に向いているのか？」なかなかわからないという悩みが増えるようになってきます。

コミュニケーションが苦手だったり能力の偏りが見られたりする学生が多くなっています。

「自分は何か他の人とちがうな?」と感じたり、自分自身の行動に悩んでみたり、周囲とのかわりに混乱したりもします。

そのような悩みをお気軽に相談できる環境、一緒になって解決していく環境を、アップル梅田は提供したいと考え「1 up stage」を開設しました。

### 2. 『1 up stage』5つの特徴

- ① 仲間に出会えるコミュニティの場、雰囲気を提供します!!
- ② 自分自身を客観的にとらえ、自分自身の状況を認識できるよう支援します!!
- ③ 自分に合った仕事が見つかるよう支援します!!
- ④ 一般の人でも障がい者の人でも、どちらでも就活支援します!!
- ⑤ ご家族や大学院、大学、専門学校と連携します!!

# アップル梅田は、学生の「いろいろな悩みの解決」にむけて親切丁寧に、ご支援させていただきます!

### 3. 『1 up stage』はいつ? どこで?

- ・ コミュニティは、毎週(月、水、金)、夕方(15:30 ~ 17:30)に開催します
- 尚、ご来所される時は下記連絡先に、事前にお電話で連絡をお願いします
- ・ 個別のご相談がある場合は、お気軽にご連絡下さい、別途、時間を調整させていただきます
- ・ お問い合わせは以下の連絡先におねがいします!



Good ワーク & Good ライフ

就労移行支援



ホーム: apple-osaka.com

メール: info@apple-osaka.com

〒530-0026

大阪市北区神山町6-4

北川ビル5階

電話: 06-6948-6252

FAX: 06-6940-0271



# ★☆☆ 『1 up stage』 5つの特徴 ☆☆☆

## ① 仲間に出会えるコミュニティの場、雰囲気を提供します !!

最近「学校の空きコマや長期休暇は何をしていますか?」といった質問に対して、多くの学生が答えるのが「図書館で本を読む」とか「スマホやPCで時間をつぶす」などの内容だと思います。

↓

大学院、大学、専門学校での学生の孤独な姿が目に見えます。

↓

恋愛に、アルバイトに、インターンにと、時間を惜しんで学生生活をエンジョイする多くの学生がいるなか、それに取り残されている学生もいます。

↓

もちろん、そういった学生も、まわりの人とのつながりを強く求めています。

↓

安心できる環境で仲間と話し合い、共感しあえるコミュニティの場、雰囲気を『1 up stage』は提供します。

## ② 自分自身を客観的にとらえ、自分自身の状況を認識できるよう支援します !!

いろいろな人に相談したり、診断を受けたとしても、ご本人が自分自身の「違い」にふと気づくのは多くの場合は20歳前後とされています。

↓

「発達障がい」といった言葉は知識としては理解していると思います。

↓

しかし「自分自身がそうではないか?」と思いはじめますと、だんだんとまわりの人達とのかかわりに混乱するようになってきます。

↓

そういった状況を解決するには、自分自身を卑下することもなく、周囲の人との違いを否定することもなく、自分自身の「良さ」も「苦手さ」も素直に受け入れることができるような「体験」してみることだと思います。

↓

同世代の同じような課題や悩み・目標をもつ人たちと『1 up stage』のスタッフによって、自尊心・自信を高めながら、自分自身の状況を見つめなおす場を『1 up stage』は提供します。

## ③ 自分に合った仕事が見つかるよう支援します !!

前述の②のような状態になってきますと自分自身を「客観視」できなくなってくる。

↓

就職活動においては、自分が「どんな仕事に向いているのか?」わからないといった悩みに迷うことが多くなりますので、ますます客観視できません。

↓

パソコンなどIT関係に興味のある方には『1 up stage』では、本社のソフトウェア開発部門のインターン制度等を利用して企業での仕事の実体験をして頂けます。

↓

企業という新たな環境を体験することにより、自分自身を見つめなおすことができると思います。

## ④ 一般の人でも障がい者の人でも、どちらでも就活支援します !!

一例として、障がい者様の就職を考えた場合ですが、一般枠と障害者枠、どちらが良いのだろうかと多くのご家族・ご本人が悩まれます。

↓

実は一般枠と障害者枠では、就職活動の時期も、面接で聞かれる項目も、書類作成のポイントも、すべて違ってきます。

↓

就活の時期が、卒論や卒研で忙しい最終学年に重なることもあり、乗り越えるべき壁がずいぶん高くなってきます。

↓

にもかかわらず、ハローワークとか、まわりの人達からは、なかなか専門的なアドバイスをもらえません。

↓

『1 up stage』では、一般枠と障害者枠どちらの就活も親切丁寧に支援します。

## ⑤ ご家族や大学院、大学、専門学校と連携します !!

ご家族の目が届く範囲でお子様が日常を過ごすことが多かった高校までとは異なり、大学院、大学、専門学校になると「いつ」「どこで」「何をしているのか」が見えにくくなり、ご家族が不安になることが多々あると思います。

↓

『1 up stage』では、そのようなご家族のご不安を受け止めるだけでなく、ご家族、大学院、大学、専門学校への連携を積極的に支援します。